

平成31年2月20日

宇都宮市議会議長 小林紀夫様

タブレット端末利活用検討会
会長 塚原毅繁

タブレット端末利活用検討会における検討結果について（最終答申）

平成27年6月より、タブレット端末の利活用について検討を進めてきたところではありますが、下記の事項について検討結果がまとまりましたので、別紙のとおり答申いたします。

なお、この答申をもってタブレット端末利活用検討会を終了することとすることを申し添えます。

記

- 1 クラウドストレージサービス利活用の拡充について
- 2 クラウドストレージサービス容量の拡充について
- 3 タブレット端末の更新について

1 クラウドストレージサービス利活用の拡充について

第3次中間答申後、クラウドストレージサービス利活用拡充のため、格納する資料を追加したところであるが、更なる利活用について検討した結果、新たに格納する資料を含めた格納資料の一覧を下表のとおりとする。

新規に格納する資料は、平成31年4月から格納する。

区分	資料名等	備考
執行部関係	執行部からの情報提供	
会議資料	各常任委員会資料	
	各特別委員会資料	
	議会運営委員会資料	
	各会派代表者会議資料	
	広報広聴委員会資料	
	タブレット端末利活用検討会資料	
	議案書	新規格納
	議案関係資料（予算・決算関係書類を除く）	新規格納
連絡・お知らせ	新着図書一覧	
様式・例規等	会派結成届・会派変更届	
	発言通告書	
	議運申し合わせ	
	確認留意事項等	
	政務活動費取扱マニュアル	
情報提供	要望書	
	事務概況書	
	市政概要	
	調査資料	
	各種委員推薦結果一覧	新規格納
	議員必携	新規格納
各会派連絡用	各会派個別フォルダ	
その他	議会図書室関係資料	

2 クラウドストレージサービス容量の拡充について

現在、クラウドの格納容量1ギガバイトのうち、9割以上を使用している状況であり、現状のままでは、執行部からの情報提供をはじめとした、従前からの資料格納に支障をきたす恐れがある点、さらには、今後の格納資料の増加に対応する点から、新たに、格納容量10ギガバイト分を追加する。※

格納容量の拡充は、平成31年4月から実施する。

※ 追加容量は10ギガバイト単位

3 タブレット端末の更新について

平成27年12月より現行端末を導入したところであるが、通信事業者との通信契約が、平成31（2019）年11月に満了することに伴い、端末の更新について検討した結果、下表のとおり実施する。

項目	内容
製品規格	機種 i P a d 後継機 通信方式 Wi-Fi+Cellular 方式 容量 概ね64GB以上 ディスプレイ 概ね9インチ以上 機種選定基準 現行端末のスペックと概ね同等以上であること
更新時期	平成31（2019）年11月
契約台数	議員45台+事務局5台
契約・支払方法	更新時の状況に応じた、最適な方法にて契約及び支払いを行う
更新スケジュール	平成31（2019）年10月 … 新機種の発注，研修会の実施 平成31（2019）年11月 … 新機種の配付，旧機種の回収

むすびに

本検討会は、平成27年6月に、タブレット端末の利活用と端末を活用したICT化について調査・研究する組織として設置され、タブレット端末の導入に必要な基本的事項から、更なる活用に向けた実践的事項まで、5回の答申書、報告書を取りまとめ議長へ提出してきた。

これらの答申によりタブレット端末が議員へ導入され、ペーパーレス会議の試行や操作研修会の開催を経て、各議員のタブレット端末の活用も徐々に浸透し、情報の閲覧、保管の観点から議会活動において必需の機器となりつつある。

今年度、本検討会では、タブレット端末の更なる利活用に向け、掲載資料の拡充とともに、端末内に搭載しているクラウドストレージサービスの容量拡充など、端末更新に向けた機器の仕様などを検討し取りまとめた。

タブレット端末の本会議等での活用にあたっては、複数資料の同時閲覧や瞬時の資料検索などとともに、議場でのタブレット活用への市民理解など、慎重に検討すべき課題もある。

しかしながら改選後においても、これまでの検討の方向性を踏まえ、より幅広い議会活動にタブレット端末が利活用できるよう、課題の克服とともに、端末更新を契機とした新たな利活用や環境整備による利便性の向上など、議会ICT化の進化に向けた調査検討の継続を期待する。

なお、執行部に対しては、議会側のこれら取組みへの連携協力を要望するとともに、新たな富の創出や生産活動の効率化に大きく貢献し、市民生活の利便性を高めるよう、行政のICT化はもとより包括的なICT化の更なる推進を期待する。

【検討経過（平成30年6月27日以降）】

回	年 月 日	内 容
第17回	平成30年 6月27日	・クラウドストレージサービス利活用の拡充について協議 ・タブレット端末の機種変更に係る業者による説明
第18回	8月30日	・クラウドストレージサービス利活用の拡充について協議 ・タブレット端末の機種変更について協議
第19回	平成31年 2月19日	・最終答申書（案）について協議

【委 員】

会 長 塚 原 毅 繁

副会長 今 井 政 範

委 員 久保井 永 三

同 佐々木 均

同 小 平 美智雄

同 村 田 雅 彦

同 馬 上 剛

同 福 田 久美子

参考：過去の答申及び報告（抜粋）

第1次中間答申（平成27年7月31日）

- (1) 導入にあたっての考え方
- (2) 利用範囲，導入機能及び導入時期について
- (3) 導入端末について
- (4) 費用負担について

第2次中間答申（平成27年9月18日）

- (1) 宇都宮市議会タブレット端末使用基準（案）
- (2) 政務活動費取扱いマニュアルの一部改正（案）

第3次中間答申（平成28年7月28日）

- (1) クラウドストレージサービスの活用の充実
- (2) ペーパーレス会議の試行

※ 第3次中間答申を踏まえた具体的検討

第1次中間報告（平成29年2月17日）

- (1) ペーパーレス会議の試行結果について
- (2) 今後のペーパーレス会議に向けて

第2次中間報告（平成30年3月7日）

- (1) タブレット端末操作研修会について
- (2) 先進地視察について